



第 38 号

令和元年 7 月

会長 岡本 諒

当自治会防犯パトロールに表彰状

会長 岡本 諒

北野中央自治会は、「子どもから高齢者、そして障がいを持たれた人にも優しい、安心安全な街づくり」を目指し「福祉」「防災・防犯」活動を展開してきました。

特に、防犯については、平成 20 年から会員による「防犯パトロール隊」を結成し、町内の防犯パトロールを実施してきました。「北野中央自治会」名の入った、オレンジ色の目立つジャンパーを着て、町内を巡回し町内の皆さんに挨拶や声掛けを行い、地域との連帯感を深め、防犯意識の高い地区である事をアピールし犯罪抑止につなげています。



更に、平成 26 年からは「青パト」（青色防犯車両パトロール）も加わり、巡回の強化を図っています。最近では、青パト車両によるパトロール活動が「防犯パトロール」の主流になる中、徒歩で実施している北野中央自治会の巡回活動は、隅々まで目が届き、住民に優しく細やかなパトロールが出来ることから地域における貴重な存在となっています。

これらの徒歩による「防犯パトロール」が高く評価され、「札幌豊平防犯協会連合会」並びに「豊平警察署」より、「令和元年度防犯功労者」として表彰されました。

今回の表彰は、7 月 5 日、札幌きたえーるにて開催された札幌豊平防犯協会連合会総会において、青色防犯パトロールや児童の登下校時の見守り、地域に根差した防犯活動に尽力した個人 7 名と、防犯意識の高揚と啓発活動に取り組んでいる団体として「北野中央自治会パトロール隊」の 1 団体が対象になりました。

会員の異動のお知らせ

5 月 25 日 1 区 1 班 鈴川礼将（ひろのぶ）さんが入会されました。

6 月 30 日 2 区 11 班 前川安子さんが退会されました。

7 月 30 日 2 区 11 班 藤井 貢さんが入会されました。

（7 月末現在の総会員数は 319 名）

お待たせしました野外懇親会

青空の下に 160 名が歓談

中央自治会の最大の行事の野外懇親会は 6 月 30 日（日）北野第二公園で行われました。

当初計画の 6 月 16 日、さらに 23 日と 2 度の雨天順延の後、前日まで天候が心配されましたが、会員皆さんの熱意が通じたか、会場設営の 9 時ころには陽が射し、少し風が強かったものの絶好の懇親会日和となりました。



今年は、裏方さんとして多くの方々が協力し、円滑に行うことが出来ました。

11 時、岡本会長の挨拶と共に会は開始されました。

参加者は昨年を上回る 160 名。用意されたテーブルは 20 卓 80 脚、シートに設置された座卓 6 卓、料理は、ジンギスカン、焼きそば、焼き鳥、飲み物は生ビール、ジュース類など。

会員は、爽やかな青空の下、ご家族、ご近所さんそれぞれ思い思いの席で歓談し交流を深めました。



女性部研修旅行

雪印メグミルク札幌工場
札幌市民防災センター

7月22日（月）、参加者18名で女性部研修旅行を実施しました。
札幌サンプラザのバスをお借りし、9時に出発。最初に訪れたのは、「雪印メグミルク札幌工場」で、乳業発展の歴史や実際に牛乳の製造工程を見学することが出来ました。



札幌市民防災センターにて

サンプラザのランチでは、皆さん会話を楽しみながら食事をし、午後からの見学は「札幌市民防災センター」へ。地震体験や消火体験をしましたが、消火体験ではそれぞれの家庭の消火器を見直す機会となりました。

お天気にも恵まれ、お互いの交流もでき良い研修旅行になりました。

（女性部長 金子香織 記）

ふれあいサロン 陶芸教室

三年ぶりの開催となった「ふれあいサロン陶芸教室」は、7月29日（月）北野平小学校で行われました。

講師には元北野平小学校校長をされていた金田隆史先生と他に2名の先生。参加者は17名で、はじめから何を作るか、すでに構想を持っている人、教室に陳列されている作品例を参考にする人など、それぞれ思い思いの作品に取り組みました。

始めはどんなものが出来上がるのか不安な会員達でしたが、金田先生の軽妙な語り口と各先生の手取りの手による親切なご指導により、思っていたよりいい作品になりそうな様子。今後、先生たちの手で釉をかけ、窯に入れるなどの工程を経て完成となります。

世界でたった一つの作品、どんなものになるのか、とても楽しみです。



地域の力で防災訓練

自治会の防災訓練は雲一つない好天に恵まれた 7 月 7 日（日）午後 2 時から北野第二公園にて行われました。

今年も清田消防署北野出張所から奈良所長以下 4 名の署員が参加、親切な指導をしていただきました。

岡本会長の挨拶に続き、奈良所長からは、北野出張所の業務内容や設備の紹介、災害への心構えなどについてお話がありました。

訓練は

①防災資機材の取り扱い

当自治会の資機材は、市から支給されたもの以外に自治会独自で取り揃えたものも多くあり、他に例を見ないほどであるとのことでした。

ジャッキーの使い方、服を利用した応急担架の作り方を学びましたが、何よりも大切なことは、あくまでも自身の安全、避難を優先にすべきであると強調されました。

②バケツリレー

バケツの持ち方、水の掛け方などを学びました。

③消火器の取り扱い方

消火器の種類や、標識の見方、使い方を学び、消火器を使った訓練も行いました。

大切なことは、消火器を使う前に大声で近所の人に知らせること、避難する方向を確認すること、てんぷら火災の場合は 2～3m 離れて使用すること、燃えている部屋の戸は締め、玄関の戸は開けておくこと。

また、一般住宅の場合、消火器の設置義務はないが、用意しておくことが望ましいこと。で

④紐の結束訓練

簡便で緩みのない「巻結び」を学びましたが、一年前に指導して頂いたにもかかわらず、すっかり忘れてしまい、訓練は日常的に行うことの必要性を再認識させられました。

この日の参加者は 30 名、帰りには緊急用呼子笛や「救急医療利用のルール」のパンフレットなど 3 点のおみやげを頂きました。



38 号編集者 広報部 荒木貞一